

令和5年度当初予算の概要

岐阜県 池田町



池田町フスコットキャラクター
ちゃちゃまる

1. 当初予算規模

当初予算額		
	令和5年度	令和4年度
一般会計	95億67百万円	94億50百万円 (対前年 1.2%増)
特別会計	39億69百万円	38億96百万円 (対前年 1.8%増)
計	135億36百万円	133億46百万円 (対前年 1.4%増)

* 令和5年度当初予算の概要(計数編)12・13・14 ページ参照

一般会計当初予算額は、95 億 6,700 万円で、前年度と比べて 1 億 1,700 万円(1.2%)の増額となり過去最大規模となります。

また、特別会計(上水道除く)を含む全会計当初予算総額は、135 億 3,600 万円で前年度比 1 億 9,000 万円(1.4%)の増額となります。

増額となった要因としては、新型コロナウイルスワクチン接種事業や庁舎受変電設備及び空調設備改修工事業は減となりましたが、新たに土地取得特別会計が当初より予算化されたことや公約である学校給食費無料化事業など『子育ての環境づくり政策』に力を入れ取り組むことによるものです。

歳入については、町税ではコロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続き企業収益や個人所得が改善しているため町民税の増加、企業誘致による固定資産税の増加が見込まれ、町税全体としては 2 億 4,054 万円の増額となっています。また、臨時財政対策債の減などに伴い地方債で 2 億 4,770 万円減額し抑制に努めました。なお、寄附金のふるさと納税については 5,000 万円の減額、繰入金ではふるさと支援まちづくり基金繰入金で 1 億 7,600 万円の増額を見込んでいます。

歳出については、学校給食費助成金やタクシー利用助成事業助成金の拡充に伴う増により補助費は 1 億 8,437 万円の増額、児童手当、福祉医療費支給が減されたものの、子どものための教育・保育給付費の増などにより扶助費は 7,242 万円の増額となっています。その一方で、人件費は給与改善計画による増や会計年度任用職員報酬が増されたものの、正職員数の減(188 人→185 人)や退職手当組合負担金の減により 2,376 万円の減額、新たに 3 カ年で学校・地区公民館の LED 取替工事を行う脱炭素化推進事業を進める一方、池田公園芝生化整備工事や庁舎受変電設備及び空調設備改修工事などの減により工事請負費では 1 億 3,206 万円の減額となっています。

2. 令和5年度の施策方針

1月29日池田町長選挙にて6選を果たすことができました。公約で掲げました5つの決意と20の施策を出来る限り、今回の当初予算に組み込ませていただきました。6期目におきましては、これまでの集大成として「未来へ繋ぐ持続可能なまち」を創造していきます。

本町においてもコロナ禍の影響で人口減少が深刻化しており、それに付随して町の機能低下が懸念されています。人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがかねません。公約で掲げた1つ目の決意『福祉・教育・子育て環境の整備』を最重要課題と位置づけ「未来への投資」として、小中学校児童・生徒の給食費の無料化、小学新1年生入学祝金5万円の支給など、結婚・妊娠・出産・子育てに至るまで切れ目なく支援し、子ども・若者・子育て世帯を対象に、少子化対策を強力に進め、まちの機能を維持し、活力を損なわない、未来へ繋ぐ持続可能な地域社会を構築していきます。2つ目の決意『安心・安全な社会の形成』を実現するため、防災・減災体制の強化、高齢者・障がい者の交通手段の確保、砂防河川浚渫事業の推進などに取り組みます。残り3つの決意『地域振興を進め活力の源を創生』、『効率行政を推進し持続可能な町を』、『企業誘致・財政の安定化』につきましても着実に進めます。

令和5年度は、池田町第六次総合計画に位置付けた町の将来像『ぬくもりがあふれるまち 池田町 ～ふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ～』の実現に向けた4年目の年になります。厳しい財政状況の中、長期的な視点を持ちつつ、メリハリが効いた予算配分を行い、公共施設の老朽化対策・適正配置や指定管理者制度の活用など、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

こうした中、令和5年度の当初予算では、まずグリーン社会の実現に向け、町内の学校・地区公民館において、順次照明機器のLED化による脱炭素化推進事業を3カ年で推進します。

また、デジタル化の実現に向け、マイナンバーカード、キャッシュレス納付(QRコード)の普及拡大を進め、町民サービスの向上を図り、学校ICT化に向けた環境整備を促進します。

生活基盤関連については、タクシー利用助成金を拡充します。引き続き、高校生に対して通学の移動手段の確保のひとつとして養老鉄道高校生通学定期券助成事業を行い経済負担の軽減、養老鉄道の存続支援にも取り組みます。激甚化する自然災害に備え防災・減災体制の強化、砂防河川の浚渫事業に取り組みます。

保健・福祉関係については、医療費の抑制、生活習慣病予防を目的とした特定健康診査・すこやか健診の受診率向上のため、受診促進事業を実施、任意予防接種(帯状疱疹ワクチン)費用の一部助成を開始し、感染症予防の推進、経済的負担の軽減を充実させます。

地域振興関連については、池田山麓遊歩道の整備や放棄茶園の景観維持、空き家等の適正管理を進めるほか、商工業者に対して創業・特産品開発・中小企業支援補助金制度を新たに創設します。引き続き、企業誘致を進め、安定した税収と働く場の確保に努め、地域産業の活性化を目指します。

教育関連については、GIGAスクール構想の実現に向けプログラミング教育事業の推進、町を紹介する社会科副読本の見直しを図ります。引き続き、小学生通学路の防犯対策として防犯カメラの設置を進めます。また、学校施設では、八幡小学校プール改修工事、中学校LED照明取替工事、社会体育施設では、養基公民館空調機設置工事、東公民館・図書館LED照明取替工事、総合体育館ランニングマシン整備事業などを行い、安心・安全・快適な施設管理に努めます。

3. 主な歳入歳出

歳入

名称	令和5年度	令和4年度	比較
町税	31億 1,288万円	28億 7,234万円	2億 4,054万円
うち町県民税	12億 8,655万円	12億 3,030万円	5,625万円
うち固定資産税	16億 3,554万円	14億 5,981万円	1億 7,573万円
地方消費税交付金	5億 5,000万円	5億 800万円	4,200万円
地方交付税	19億 8,500万円	19億 5,600万円	2,900万円
国庫支出金	7億 2,933万円	7億 9,741万円	△6,808万円
うち負担金	6億 2,335万円	6億 4,287万円	△1,952万円
うち補助金	1億 103万円	1億 4,958万円	△4,855万円
寄附金	4億 5,734万円	5億 216万円	△4,482万円
うちふるさと支援まちづくり寄付金	4億 5,000万円	5億 円	△5,000万円
繰入金	6億 7,285万円	3億 9,721万円	2億 7,564万円
うちふるさと支援まちづくり基金繰入金	2億 7,600万円	1億 円	1億 7,600万円
諸収入	3億 3,281万円	3億 4,059万円	△778万円
町債	4億 8,770万円	7億 3,540万円	△2億 4,770万円
合計	95億 6,700万円	94億 5,000万円	1億 1,700万円

歳出

名称	令和5年度	令和4年度	比較
人件費	15億 6,601万円	15億 8,977万円	△2,376万円
扶助費	13億 5,387万円	12億 8,145万円	7,242万円
負担金補助及び交付金	17億 661万円	14億 3,647万円	2億 7,014万円
うち負担金	16億 5,445万円	13億 7,784万円	2億 7,661万円
うち補助金	5,216万円	5,863万円	△647万円
委託料	9億 5,863万円	9億 8,423万円	△2,560万円
工事請負費	8億 3,031万円	9億 6,237万円	△1億 3,206万円
備品購入費	4,709万円	4,096万円	613万円
公債費	8億 2,194万円	8億 4,829万円	△2,635万円
積立金	1億 9,107万円	2億 6,390万円	△7,283万円
繰出金	13億 7,018万円	12億 7,094万円	9,924万円
合計	95億 6,700万円	94億 5,000万円	1億 1,700万円

4. 主要事業

☆…新規 ◎…拡充 ○…継続
□…SDGs(国連持続可能な開発目標)

(1) 活力あるまちづくり・人づくり

☆出産育児一時金支給事業（国）【6,500 千円】



出産にあたって平均的な標準費用を全て賄えるようにする観点から、出産育児一時金42万円を令和4年4月から50万円に増額し支給しています。

☆出産・子育て応援給付金事業（国）【14,869 千円】



妊娠届出時より伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用などにかかる負担軽減を図るため、妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円の経済的支援を一体的に実施します。

☆第2子以降出生祝い金支給事業（県）【8,137 千円】



第2子以降の出生児に対して10万円の祝い金を支給します。

○すくすく赤ちゃん券助成事業（町）【3,200 千円】



子育て支援施策として、出生届時におむつ・ミルク等の購入代として「すくすく赤ちゃん券」を第1子目には2万円分、第2子目には3万円分、第3子目以降は4万円分と、「おむつ用 ゴミ袋 30 枚」を交付します。

○園児給食費無償化事業（町）【15,696 千円】



子育て支援施策として、3歳以上の園児の給食費(主食費・副食費)を無償化します。
公立 181 人・私立 146 人×4,000 円×12 ヶ月

○多子世帯保育料無料化事業（町）【5,996 千円】



子育て支援施策として、18 歳以下の児童のうちで第3子目以降の児童に対する保育料の無料化を実施します。

○子育て就労応援事業（町）【1,487 千円】



平成 30 年に開設した子育て就労応援センターで、大垣ハローワークと連携し、ハローワーク出張相談を行います。また、育児や家事をしながら再就職を考えている母を応援するため、町内企業と連携し、講座やキャリアカウンセリングなどを企画し、出産後も安心して暮らし、働くことができるまちづくりを目指します。

☆特定健康診査、ぎふ・すこやか健診受診促進事業【2,520 千円】



医療費の抑制、生活習慣病予防を目的とした健診の受診率向上のため、対象者に対して受診勧奨通知、受診者には「温泉券」を配布し、受診率 50.0%を目指します。

☆帯状疱疹ワクチン予防接種費用助成事業 【2,736 千円】



任意予防接種のうち、50 歳以上の方を対象に接種にかかる費用を一部助成し、感染症予防を推進するとともに、経済的負担の軽減を図っていきます。

○防災メール活用事業 【1,782 千円】



防災情報等を多くの住民に素早く伝達するため、戸別受信機(防災ラジオ)、メール、ライン、ホームページ等の複数配信メディアに対し、一斉に情報配信するシステムを活用します。

☆公共施設等管理事業 【281,228 千円】



公共施設等の長寿命化、防災・減災対策を目的に庁舎受変電設備及び空調設備改修工事を行います。

☆脱炭素化推進事業 【40,000 千円】



脱炭素化を目的に中学校、東公民館、図書館照明の LED 取替工事を行います。
3カ年計画により小中学校、地区公民館を順次、LED 照明に取り替えます。

○地域脱炭素移行・再エネ推進事業 【10,000 千円】



グリーン社会の実現に向け、住宅用太陽光・蓄電池設置に伴う費用に対して「池田町住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金」を支給します。

太陽光 7万円/kW 上限5kW 、蓄電池 15万5千円/kW 上限5kW

☆空き家等適正管理活動支援事業 【500 千円】



地域で問題になっている空き家等を適正に管理していくため、雑木・雑草等の処分費を負担します。

○ブロック塀等撤去費補助金交付事業 【1,200 千円】



地震など災害によるブロック塀等の倒壊事故被害を防止し、安全なまちづくりを推進するため、道路に面したブロック塀等の撤去を行う場合に、1件当たり 10 万円を上限に補助金を交付し、ブロック塀等の撤去費用の一部を助成します。

○移住定住推進事業 【2,514 千円】



町内への移住を推進するため、移住希望者を対象に町内を個別案内し、移住促進を図ります。また、子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空き家の活用を図るため、空き家を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行うとともに東京圏からの移住・就業を後押しするため、移住支援金の給付を行います。

○まちづくり工房事業 【3,386 千円】



まちづくり拠点「まちづくり工房 霞溪舎」を中心とした町民参加のまちづくりを推進し、その施設を引き続き指定管理により運営を行います。

☆高校生が発信する住み続けたい街「池田」プロジェクト 【2,532 千円】



地方創生事業として地元の池田高校と連携し、中高生のシビックプライドの醸成を図り、住み続けたい街「池田」を目指します。また、ドローン・SNS等を活用して、若者目線で街をPRし多くの方に池田町を訪れてもらえるよう取り組みます。

(2) 地域振興関連事業

☆池田町北部工業団地第6期造成事業 【81,000 千円】



土地の取得、造成、売却に関する用地先行取得を実施するため特別会計を設け、企業誘致の推進を図ります。

宮地地内 16,356 m²

○工場等設置奨励事業 【13,944 千円】



産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業の立地促進を目的に奨励措置を設けます。

☆東地区公園整備事業 【6,600 千円】



東地区(池田小校下)に駐車場を含む緑地公園を設置するため、実施設計を行います。

東地区 9,427 m²

☆大津谷公園キャンプ場指定管理事業 【6,600 千円】



町の観光施設である大津谷公園キャンプ場の管理について、指定管理者制度を活用します。また、家族連れが楽しめるスペースやイベントを提供し交流人口の増加、地域振興を目指します。

☆池田山麓遊歩道整備事業 【10,157 千円】



池田山麓のシシ垣を活かして自然・歴史を感じてもらいながら散策できる遊歩道を整備します。地域観光資源の活性化のみならず、地域の交流人口の増加を目指します。

☆国定公園等整備事業 【2,117 千円】



登山客に山頂を楽しんでもらうため、池田山展望台の階段・手摺・床板の改修工事を行います。

◎森林空間施設整備促進事業 【4,880 千円】



清流の国ぎふ森林環境税を活用して、霞間ヶ渓登山道の階段等を整備し、観光客の増加を目指します。

◎森林環境整備事業 【6,600 千円】



森林環境譲与金を活用して、森林経営管理制度による意向調査を実施し、里山林整備業に取り組み、森林景観整備の推進を目指します。

○茶業振興事業【4,104千円】



池田町茶業振興センターの運営支援や茶業関係団体への助成により、茶業の振興、茶業従事者の技術向上及び後継者育成を目指します。

☆キャッシュレス納付普及拡大事業【0千円】



固定資産税、軽自動車税については、QRコードによる納付が開始され、指定金融機関以外にも郵便局やクレジットカードによる納付が可能になり、より便利な納税環境が整備されます。

☆商工業者支援事業【3,000千円】



商工業者に対して、創業支援、特産品開発支援、中小企業支援補助金制度を新たに創設し、町内での起業などを支援して商工業の活性化を図ります。

創業支援事業補助金	事業費の1/2	上限 50万円
特産品開発支援事業補助金	事業費の1/2	上限 50万円
中小企業等補助金申請支援補助金	事業費の1/2	上限 20万円

○ふるさと納税推進事業【450,000千円】



池田町を応援していただくための啓発等を行い、特産品等の返礼を準備し、併せて町のPRを行って、ふるさと納税を推進し町の活性化を図ります。

○町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業【638千円】



池田町の活性化とPR活動の充実のため、誰からも親しまれ愛されるマスコットキャラクターになるよう努め、HPや各種イベントなどに活用します。

(3)教育関連事業

☆入学お祝い金交付事業（町）【8,500千円】



小学新1年生の入学祝金5万円を支給し、進学に備えた子育て世代の経済的負担を軽減します。

☆中学3年生への準備金支給事業（県）【7,704千円】



高校進学などを控えた中学3年生に対して3万円の入学準備金を支給します。

☆小学生、中学生に対する学校給食費の無償化（町）【100,906千円】



学校給食費の無償化を令和2年度から小学6年生、令和3年度から中学3年生、令和5年度から小中学校児童生徒全員を対象とし、子育て世代の経済的負担軽減を図ります。

小学生	1,240人	×4,500円	×11ヶ月
中学生	691人	×5,200円	×11ヶ月

◎通学路防犯カメラ設置事業 【2,136 千円】



小学生通学路の防犯対策として防犯カメラの設置を順次進めます。

○池田町大野町学校給食センター協議会運営費 【116,543 千円】



池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町及び大野町内で給食事業を行います。

◎GIGA スクール支援・プログラミング教育事業 【4,970 千円】



GIGA スクール構想の実現に向け技術サポーターを委託し、小中学生を対象に ICT 教育支援及びプログラミング教育を行います。

○少人数学級指導支援事業 【4,896 千円】



一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行います。 対象校:八幡小3人

○池田町版体験キャリア教育事業 【4,305 千円】



キャリア教育コーディネーター2名が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方やキャリア教育プログラムについて考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指します。

また未来の池田町を担う中学生と池田高校生に対して英検や漢検等の資格取得に対して助成を行うことで、社会で活躍する土台形成を図ります。

◎英語活動支援事業 【10,560 千円】



ALT(Assistant Language Teacher)のほか、町独自に講師を5人配置し、小中学校における英語授業の充実を図ります。

◎特別支援教育支援事業 【39,946 千円】



学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整えます。

支援員 配置校:温知小3人、八幡小3人、池田小2人、池田中3人

アシスタント 配置校:温知小8人、八幡小4人、宮地小4人、池田小4人

☆各小学校管理事業 【42,579 千円】



八幡小学校プール改修工事 30,426 千円

温知小学校校内放送設備改修工事 4,148 千円

☆トレーニングルーム器具整備事業 【4,200 千円】



総合体育館トレーニングルームのランニングマシン4台の整備を行い、安心・安全・快適な施設管理に努めます。

(4)生活基盤関連事業

○養老鉄道高校生通学定期券助成事業 【7,805 千円】



高校生に対して通学の移動手段の確保のひとつとして通学定期券の助成を行い、経済負担の軽減と社会参加の促進、養老線の支援にも取り組みます。

○移動手段確保対策事業 【576 千円】



65 才以上の方を対象に養老線マイレールチケット 21(回数券)を販売定価の 1 割助成します。なお、妊娠中の方にはマイレールチケット 21(回数券)を1回無料配布します。また自動車運転免許返納者へは、2 年間で 4 回まで無料配布します。

○養老線管理機構関連事業 【137,549 千円】



一般社団法人養老線管理機構へ負担金(100,986 千円)と補助金(26,124 千円)を支払い養老線を支援します。

☆コミュニティバス運行事業 【6,384 千円】



コミュニティバスの運行を行い、町内の安全な移動手段を基本とし利便性の向上を図るため、マイクロバス1台、ワゴン車2台で4路線、31便/日を実施します。

(令和4年度利用者数は、8,360 人) (1月末日現在)

☆タクシー利用助成事業 【16,911 千円】



運転免許証を所有していない高齢者や障害者に対して経済負担の軽減と社会参加促進を促すため、タクシー利用の助成を行います。

(令和4年度申請者数は、320 人) (1月末日現在)

○単身の高齢者、障害者世帯に対するごみ出し支援事業 【367 千円】



自ら家庭ごみをごみステーションに出すことが困難な、単身の要介護者や障害者などに対して事業者の戸別訪問によるごみ収集、または地域の協力者によるごみ出しに対する支援を行います。

○敬老の日記念事業 【6,875 千円】



88 歳の方を対象とした長寿お祝い式典の開催、79 歳以上の方を対象とした記念品の配布を実施します。

☆国民健康保険税率の引き下げ 【96,000 千円】



近年、国民健康保険特別会計の実質単年度収支は黒字であり健全な運営が見込めるため、保険税率の見直しを行った。

所得割	12.00%	→	9.75%
均等割	55,000 円	→	37,000 円
平等割	45,000 円	→	33,000 円

○福祉医療扶助事業 【207,554 千円】



子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができます。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	1,014	31,800
児童・生徒扶助	2,495	81,000
高校生等扶助	701	22,748

○放課後児童クラブ事業 【35,369 千円】



仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中、保護者に代わり、適切な遊びや生活の場を小学校毎に開設します。(利用予定者数:215人、対象児童は小学校6年生まで)

☆子ども食堂・子ども宅食支援事業 【4,200 千円】



子ども食堂の新設・拡充、運営費に対する補助を行い事業者を支援します。

○社会資本整備総合交付金事業 【44,000 千円】



地域基盤整備工事 道路舗装

藤代・八幡線(田畑地内)	L=300m	22,000 千円
上八幡 60 号線	L=300m	22,000 千円

◎緊急自然災害防止対策事業 【52,980 千円】



道路防災 道路舗装整備

上田 48 号線	L=380m	35,000 千円
池野市街地線	L=357m	14,580 千円

道路防災 冠水対策

アンダーパスポンプ入替		3,400 千円
-------------	--	----------

○道路改良工事 【50,100 千円】



町道アスファルト舗装工事

沓井駅前線	L=570m	30,000 千円
北部地区		6,000 千円

道路改良工事

六之井3号線	L=70m	14,100 千円
--------	-------	-----------

◎緊急浚渫推進事業 【90,640 千円】



減災対策の一環として、砂防河川内の樹木の除去及び堆積土砂の浚渫を順次実施します。

◎林道池田明神線等開設事業【50,000 千円】



平成27年度から1級林道池田明神線の第二期事業に着手し、令和6年度中の完成を目指して林道改築工事を施工します。

L=180m/W=5.0m

○里山林整備事業【5,500 千円】



野生鳥獣による被害の軽減や地域住民の生活環境の保全、生物多様性の保全を図るため、ふれあい街道沿いで倒木の危険性の高い高木の伐採を行います。

○農作物野生獣被害防止対策事業【4,244 千円】



山林のふもと付近に住みついたシカやイノシシなどが、農作物に被害を与え農家の経営に影響を及ぼしていることから、鳥獣防護柵を設置し、農作物被害の抑制を図ります。

○個人番号カードでのコンビニ交付事業【16,032 千円】



住民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、交付システムを導入し、コンビニエンスストアでの8種類の証明書（住民票・戸籍証明・印鑑証明・税証明）の取得を可能にしました。また、マイナンバーカードの普及促進を行います。

☆戸籍読み仮名表記事業【9,116 千円】



戸籍の読み仮名に対応するため、戸籍システムを改修します。

☆消防団機能強化事業【9,265 千円】



災害発生時の迅速な情報収集のため、雨天、夜間時でも飛行が可能なドローン(3,702千円)を購入して防災・減災に備えます。

ライセンス保有職員：6名